

東北地方太平洋沖地震

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖地震発生——。今まで感じたことがない激しい揺れに、誰もが驚き、慌てたのではないだろうか。気象庁によると、震源は三陸沖で、マグニチュード9.0、最大震度7。観測史上最大の地震が、奥州市を含む広範囲にわたってその爪痕を残しました。本市全域で震度6弱を観測。各地で被害が発生し、ライフラインが寸断されるなど甚大な被害を受けました。市は、今回の地震で被災した皆さんに心よりお見舞いを申し上げます。するとともに、1日も早い完全復興を目指して取り組んでいきます。

マグニチュード9.0の衝撃

金

曜日の昼下がりに日本全体を襲った東北地方太平洋沖地震——。経験したことのない程の激しく長い揺れ、直後に発生した大津波が、沿岸部を飲み込みました。棚は倒れ、机の引き出しは飛び出し、ブロック塀は崩れるなど、立っていることさえ困難な状況でした。本市では、人的・建物・道路被害などが発生。地震は大きな爪痕を残しました。

ラ

イフラインの被害も深刻でした。発電所が停止し、地震直後から市内全域で停電。そのほか、各地で断水となり、電話も不通に。家族や友人の安否確認が遅々として進まず、不安と焦りが人々の心に重くのし掛かってきました。道路の被害も甚大で、数多くの場所で行止めや片側通行規制となり、市民生活に大きな影響を及ぼしました。輸送機関の停止によって、日用品やガソリンの不足が深刻化し、頻発する余震が市民生活の不安にさらなる追い打ちを掛けました。

■地震による被害

○人的被害 死亡：0人（0）、けが：21人（15）、行方不明：0人（0）
○建物被害 全壊：21戸（21）、大規模半壊：2棟（2）、半壊：19戸（18）、一部破損：288戸（197）

【地震の概要】

■地震発生日時 平成23年3月11日午後2時46分ごろ
■震源地 三陸沖
■震源の深さ 約24㎞
■地震の規模 マグニチュード9.0
■最大震度 震度7（宮城県栗原市）
■地震の概要 観測史上最大規模を記録。地震発生後、北海道から沖縄にかけての沿岸部で津波を観測。建物の損壊、死者、行方不明者を多数出すなどの大惨事を引き起こした

○火災の発生状況 建物火災：3件（2）
○停電の状況 地震直後に市内全域4万3千312戸で停電【3月13日午後6時半に復旧】（余震直後に市内全戸で停電【4月8日午後9時54分に復旧】）
○電話の状況 地震発生後、市内各地で固定電話が不通【3月16日午後8時に復旧】
○水道被害の状況 地震発生後から一部を除き、市内各地で断水【3月17日午前0時ごろに復旧】（地震発生後から一部を除き、市内各地で断水【4月11日午後3時ごろに復旧】）
○道路被害の状況 通行止め：24カ所、片側通行規制：15カ所、道路破損：169カ所
※かつこ内は4月7日発生の余震による被害数値（4月21日時点）

電気・水道・ガスが寸断 電話も広範囲で不通に

普通の生活がとても幸せなこと

7カ月の娘を背負って、夕飯の支度を始めた時に地震に襲われました。コンロの火を消し、急いで庭へ。激しい揺れで立っていることさえできませんでした。私の家では電気、ガス、水道が復旧せず、先の見えない不安と、日用品の不足などによるストレスで、母乳もあまり出なくなっていました。

幸いにも家族全員無事でしたが、夜になると、不安に押しつぶされそうになり、閉塞感でいっぱいでした。そのような中、地震発生から2日目に娘がつかまり立ちをしたんです。このような状況でもしっかりと成長していることに感動し、涙があふれました。物流などが平常に戻りつつある今、普通の生活がどれほど幸せなことなのか、再認識しています。あの日を境に、防災への意識が高まりました。今は節電に努め、少しでも役に立ちたいと思っています。



菅原 弥穂 さん（26）
（江刺区岩谷堂）
夫、長女、両親、祖父母の7人家族。地震発生から3日間は車中で夜を過ごした。